

JSPS Information

- ◇日本惑星科学会第137回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第138回運営委員会議事録
- ◇第53回総会
- ◇日本惑星科学会賛助会員名簿

◇日本惑星科学会第137回運営委員会議事録

日 時：2020年8月3日(月) 18:30 - 20:30

場 所：オンライン開催

運営委員：

出席者 18名

中本 泰史, 中村 昭子, 和田 浩二, 諸田 智克, 玄田 英典, 中島 健介, 寺田 直樹, 田中 秀和, 竹広 真一,
小林 浩, 白井 寛裕, 奥住 聡, 荒川 政彦, 北里 宏平, 佐伯 和人, 田近 英一, 平田 成, 薮田 ひかる

欠席者5名

中村 智樹, 倉本 圭, 関根 康人, 関 華奈子, 渡部 潤一(委任状:議長1通)

オブザーバー：

はしもと じょーじ(2019年学会賞選考委員長)

堀 安範(2019年連合大会プログラム委員)

出村 裕英(2020年秋季講演会組織委員長)

保井 みなみ(総務専門委員)

議題・報告事項：

1. 第15期上期活動報告, 第15期下期活動計画(北里 総務専門委員長)

・2019年度の活動実績及び2020年度の活動計画について, steering MLによる展開の報告があった。修正があれば, 総会までに総務専門委員長まで報告するようにとのこと。

2. 入退会状況報告(北里 総務専門委員長)

・2020年8月3日現在, 正会員一般は507名, 正会員学生は85名, シニア会員は24名, 賛助会員は3名との報告があった。

・ここ数年間の会員数と比較すると, 正会員学生の会員数が増加したが, 他は大きな変化はなかった。

3. 第53回総会の議長・書記の推薦について(北里 総務専門委員長)

・議長に菅原春菜会員(宇宙科学研究所), 書記に田中佑希会員(東北大学)がそれぞれ推薦され, 承認された。

・コロナ禍のため, 第53回総会は 8月4日(火)の12:30~13:30に Zoom Webinarを用いたオンライン開催で実施される。

4. シニア会員制度について(諸田 総務専門委員)

- ・会員の種別表を作成したとの報告がされた。一部訂正の上、日本惑星科学会のホームページの入会案内ページに掲載することが承認された。
- ・シニア会員のDPS affiliate member入会については、詳細を確認後、検討することになった。

5. 第15期上期一般会計・特別会計決算報告(佐伯 財務専門委員長)

- ・2019年度決算額は、2018年度と大きく変更はない。
- ・会津大学で開催された探査データ解析実習会(2020年3月)はオンライン開催となったため、旅費補助がなくなった。そのため、2019年度支出の研究会等補助額が15万円の減額となっている。
- ・京都産業大学で開催された日本惑星科学会2019年秋季講演会の収支は、京都産業大学からの補助金の余剰分返却により、0円となっている。
- ・新型コロナウイルスの影響により、支出が若干減少となっている。
- ・(株)イーサイドへの業務委託費の消費税は、2020年度会計から10%に上昇する。
- ・貸借対照表についての照会があった。

6. 遊星人の発行状況報告(和田 編集専門委員長)

- ・コロナ禍においても、ほぼつつがなく順調に発行できている。
- ・印刷所を(株)シュービに変更したことにより、今後、印刷費が1~2割減額になる予定であるとの報告がなされた。

7. RFI回答文書改定について(寺田 惑星探査専門委員長)

- ・主査1名、副査4名、会長、委員長含む計89名の部会委員と外部有識者による2019年度RFI回答文書の改訂作業を行った。
- ・2019年10月6日に検討会を開催、同年11月18日にオンライン全体会議を開催、2020年2月1日に日本惑星科学会ホームページで公開されたとの報告があった。
- ・2020年度は大きな改訂が実施される予定であるが、コロナの影響で遅延している。そのため、その進行状況及び2019年度の公開に関しては、2020年度秋季講演会総会で報告する予定である。

8. 日本地球惑星科学連合:プログラム委員会(堀 連合大会プログラム委員)

- ・次年度のプログラム委員について報告があり、田中佑希会員(東北大学)がプログラム委員(正)、黒崎健二会員(名古屋大学)がプログラム委員(副)に推薦され、承諾された。

9. 日本地球惑星科学連合:学協会長会議(中本 会長)

- ・2020年7月14日に、オンラインによる学協会長会議が開催された。
- ・日本学術会議の近況報告として、次期委員長に田近英一会員が選任されたことが報告された。また、田近委員は日本地球惑星科学連合の会長にも選任された。
- ・次期学協会長会議議長に、渡辺俊樹物理探査学会会長が選任されたことが報告された。
- ・学協会員の会員減少(特に若手研究者)に関する対策を行うため、2019年にアンケート調査が実施され、その集計結果が紹介されたとの報告があった。

10. 2019年度最優秀研究者賞について(はしもと 学会賞選考委員長)

- ・古家健次(筑波大学計算科学研究センター、現 国立天文台科学研究部)を推薦することが提案され、承認された。
- ・応募者は6名で、2020年4月30日に全選考委員による審議が行われた。

11. 2020年秋季講演会について(出村 秋季講演会組織委員長)

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年度の秋季講演会はオンラインで開催されると報告があった。

- ・会議日程について、2020年11月12日(木)～14日(土)が提案され、承認された。
- ・オンライン開催の大きな概要が紹介された。
 - ・オーラルセッションはzoom会議室を用いて行い、発表希望者の発表分野によっては並列セッションを組む可能性がある。
 - ・擬似ポスターセッションは共有可能な資料を提示し、各種オンラインメディアを用いたオンラインで議論を行う、ポスターセッションに相当するものである。
 - ・1日目に発表賞セッション及び発表者賞選考委員会、2日目に運営委員会、3日目に総会(発表者賞受賞者公表)および研究者賞受賞講演を行う。
 - ・参加登録費は無料とする。
 - ・主催は日本惑星科学会と会津大学宇宙情報科学研究センターとする。
 - ・発表申込受付期間は9月1日(火)～14日(月)とし、セッションプログラムの公開は10月頭をめざす。
 - ・参加登録システムは特に設けないが、参加希望者には日本惑星科学会の非会員登録を行う事を指示する。
 - ・翌日の総会にて、2020年秋季講演会オンライン開催に関するアンケートを募る予定である。

12. 2021年秋季講演会について(中島 行幸部会長)

- ・名古屋大学及び名古屋市立大学が組織委員会として、秋季講演会を開催する旨が報告された。
- ・時期は未確定である。来年度もオンラインでの開催を検討する必要があることが報告された。

13. 2022年秋季講演会LOCへの補助について(中島 行幸部会長)

- ・現在交渉中のLOC担当候補において、新型コロナウイルス感染症が収束していない場合を考えると、感染防止のために大きな部屋を使用する必要がある。会場費がかなり大きくなることが予想される。そのため、会場費を含めた運営費に学会から30万円程度の補助を希望したいとの要望があり、承認された。

14. その他

- ・北里 総務専門委員長より、現在総務委員会内で検討している事案についての報告があった。
 - ・入退会業務の見直し(総務作業の簡略化・自動化)
 - ・委嘱状の発行業務の整備
 - ・会計年度の変更案(1月→4月)の実現性・有用性の検討
- ・玄田 欧文誌専門委員長より、EPSの現状報告があった。
 - ・臨時分担金は終了した。
 - ・編集長及び編集委員の交代が報告された。
 - ・Impact factorが低くなってきたため、今後更なる投稿をお願いしたいとのことである。

◇日本惑星科学会第138回運営委員会議事録

期 間: 2020年10月23日(金)～10月26日(月)

議 題: 第16期役員選挙管理委員の承認について

運営委員:

出席(23名)

中本 泰史, 中村 昭子, 倉本 圭, 和田 浩二, 諸田 智克, 関根 康人, 玄田 英典, 中村 智樹, 中島 健介, 寺田 直樹, 田中 秀和, 竹広 真一, 小林 浩, 白井 寛裕, 奥住 聡, 荒川 政彦, 北里 宏平, 佐伯 和人, 関 華奈子, 田近 英一, 平田 成, 藪田 ひかる, 渡部 潤一

欠席(なし)

成立条件: 期間内に議決返信のあった者を委員会出席とみなす。

議決方法: 上記期間内に steering-ml@wakusei.jp 宛に投票

議題: 第16期役員選挙管理委員に下記の会員8名を選出したので承認を求める。

北里 宏平(委員長)

平田 成

諸田 智克

奥住 聡

谷川 享行

保井 みなみ

小林 浩

藤谷 渉

参考: 日本惑星科学会役員選挙規定

<https://www.wakusei.jp/abstract/rule/rule-elec-steer-18-9-09.html>

審議結果: 議題は原案のとおり承認された(可23・否0)。

◇第53回総会

日 時: 2020年8月4日(火)12:30-13:30

場 所: オンライン開催

正会員数: 592名

定足数: 59名

参加人数: 120名

委任状: 65通(議長:65通)

1. 開会宣言

北里総務専門委員長が開会を宣言。

2. 議長団選出

運営委員会からの推薦で議長に菅原春菜会員、書記に田中佑希会員が選出された。

3. 議事

3.1. 審議事項

・第15期上期(2019年度)活動報告(中本会長)

日本地球惑星科学連合2019年大会, 日本惑星科学会2019年秋季講演会の参加者数および発表数, 学会誌の発行状況, 最優秀研究者賞および最優秀発表賞の受賞者, 各種セミナーやシンポジウムの開催状況, 学会運営等の説明がなされた。

・第15期下期(2020年度)活動方針(中本会長)

先日開催されたJpGU-AGU Joint Meeting 2020, 開催予定の秋季講演会, 学会誌の発行予定, 各種セミナーや実習会の開催予定等の説明がなされた。国立天文台の渡部潤一氏を講師に招いて開催予定だった惑星科学フロンティアセミナーは, コロナ禍のため2021年度に延期することが報告された。

・第15期上期一般会計・特別会計決算報告(佐伯財務専門委員長)

第15期上期の一般会計・特別会計の決算報告についての説明がなされた。秋季講演会の事業収入に関して, 補助金は収支が0となるように返却するシステムであったため, 惑星科学会側の収支はプラスマイナスゼロとな

る旨の説明がなされた。また、今年度の水害や新型コロナウイルス感染症などの影響で財政が厳しくなっている会員向けに、学会費の免除などを実施することも説明がなされた。

・**会計監査報告(門野会計監事)**

収支決済に誤りの無いことが報告された。

・**その他**

特になし。

・**質疑応答及び討論**

なし。

・**採択**

審議事項の採決が行われ、賛成: 177(うち出席者112)、反対: 0、保留: 0により採択された。

3.2. 報告事項

・**2019年最優秀研究者賞受賞者発表(はしもと学会賞選考委員長)**

古家健次会員(筑波大学、現国立天文台)に授与されることが発表された。

・**2020年秋季講演会について(出村秋季講演会組織委員長)**

2020年秋季講演会の実施案についての報告がなされた。新型コロナウイルス感染症の影響により、初のオンライン開催とし、なおかつ日程が変更される。開催は11/12-14とし、オーラルセッションに加えて擬似ポスターセッションを検討していることが説明された。

参加登録費は無料だが、参加可能なのは正会員・シニア会員および非会員登録を行った者のみである。発表受付期間は9/1-14、10月頭にセッションプログラムを公開する予定である。

オーラルセッションはZoom会議室を利用し、パラレルセッションとなる可能性がある。

JpGUとは異なり、アプリ版・ブラウザ版いずれのZoomも使用可能とする予定である。

また擬似ポスターセッションのショートオーラル発表も行われる予定である。

擬似ポスターセッションは、発表者が共有可能な資料を提示してオンラインで議論する形式とする予定である。

近日中に会員に秋季講演会の実施案についてアンケートを実施することが告知された。

アンケートの回答を元に接続数などの規模の調整や実施形態が定められるので、参加を検討している方は回答してほしい。

・**その他**

なし。

4. 議長団解任

5. 閉会宣言

北里総務専門委員長が閉会を宣言。

以上

◇日本惑星科学会賛助会員名簿

2020年11月4日までに、賛助会員として本学会にご協力下さった団体は以下の通りです。社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します。(五十音順)

- ・Harris Geospatial 株式会社
- ・株式会社ナックイメージテクノロジー
- ・株式会社ノビテック